



自民党

三原じゅん子



守ってあげたいいのちを懸けて

Vol.14

参議院議員
三原じゅん子
活動レポート

夢前案内

Junko Mihara's activity report "yumesakiannai"



令和3年10月発行
編集発行:三原じゅん子事務所
自由民主党神奈川県参議院選挙区第四支部

厚生労働副大臣として取り組んだ課題

不妊治療の保険適用

～小児・AYA世代がん患者等の妊孕性温存療法促進事業～

不妊治療の公費助成は女性活躍推進と人口減少対策の面からとても大切な政策です。菅義偉内閣で大きく前進したものの一つが不妊治療の保険適用です。わが国の総出生数のうち16人に1人が体外受精によって誕生したとされています。しかし不妊治療は治療費が高額であり、子どもを持ちたいと考える方に寄り添う政策を考える必要があります。

来年春から開始される予定の不妊治療の保険適用では、体外受精や顕微授精などの生殖補助医療について、治療回数の制限を設けながら保険適用をする方針です。先進医療の妨げにならぬよう、また安全性と有効性も担保できるように、いま最終調整が行われています。

また、小児・AYA世代のがん患者等に対する妊孕性温存療法の経済的支援を始めることができました。これまでは、思春期・若年世代のがん患者さんたちががん手術を行った際に、生殖能力の低下を招いたり喪失してしまうケースがありました。こうしたことを避けるために、思春期・若年世代のがん患者の皆様が手術前に、卵子や胚および精子を長期冷凍保存して、将来望んだ時に安心して生殖医療を受けられるように支援いたします。これまでは神奈川県などが全国に先駆けて助成に取り組んでおりましたが、全国規模で小児・AYA世代のがん患者等に対する妊孕性温存療法の経済的支援が実現できました。

不妊予防支援パッケージ

～ライフステージに応じた女性の健康推進策～

ただいま不妊治療の保険適用に向けての制度設計を政府で議論しておりますが、その前段階として、女性特有の病気の意識啓発、早期発見や重症化予防を推進していく「不妊予防支援パッケージ」を取り纏めました。

学校・スポーツ現場における養護教員の研修の充実や指導者の教育、アスリートに対する運動性無月経などへのリスク啓発と支援強化をします。そして職場を通して産業医の研修や女性の健康に関わる相談体制の充実を支援いたします。その結果、ライフステージに応じた女性の健康を継続的に支援していくのが不妊予防支援パッケージです。女性の健康と身体を守るために、省庁や各部局を横断して、政治主導で何とか取り纏めることができました。



コロナ禍の雇用・女性支援プロジェクトチーム

～もっとあなたを支えたい～

私の発案で発足した「コロナ禍の雇用・女性支援プロジェクトチーム」では、コロナ下でお困りの女性たちへの官庁の支援策のご案内がとても見つけにくいという反省から、「利用者からみてわかりやすい」政府支援策の広報について取り纏めました。YES/NOの選択によって、必要な支援策に直接たどり着ける仕組みをご提案しました。

ごあいさつ

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より参議院議員三原じゅん子の政治活動に対しまして、格別のご理解とご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

また世界規模の困難の中で、いのちと暮らしを守る現場でご尽力頂いている皆様と地域社会を支えて下さっている皆様に、心から御礼を申し上げます。令和三年九月の菅義偉内閣発足に伴いまして、厚生労働副大臣に就任いたしました。皆さま方から頂戴致しましたお力添えの賜物と心より感謝しております。

不妊治療の保険適用、不妊予防支援パッケージの取り纏め、がん対策やがん患者の皆様への支援、コロナ禍における女性の雇用と生活支援、介護休業と男性の育児休暇を含めた働き方改革。これまで四期に亘る自民党女性局長として長年取り組んできた試みを、国の政策として具現化できた一年でした。また私のライフワークでありますHPVワクチン積極的勧奨再開に関しまして、令和四年度再開に向けて確実な道筋をつけることができました。

これからも皆様のご意見を賜りながら日々邁進致します。今後ともご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

三原じゅん子



HPVワクチンの積極的勧奨再開に向けて

～キャッチアップも検討～

HPV(ヒトパピローマウイルス)ワクチンについても大きな進展がありました。

HPVは子宮頸がんの原因となるウイルスです。わが国では子宮頸がんは年間約1万人が罹患し、毎年約2,900人が亡くなっております。咽喉がんや肛門がんなどもHPVが原因と言われており、男性にも関心を持っていただきたいウイルスです。わが国では平成25年以降、HPVワクチンの積極的勧奨を中止しておりますが、この8年間、国会質問や議員連盟の設立や各種講演会の開催など通して、HPVワクチンの積極的勧奨の再開に向け最新知見へのご理解を訴えて参りました。

皆様方の力強い応援の成果もあり、この秋にも厚労省の検討部会でワクチン積極的勧奨再開に向けた審議が再開されることが決まりました。専門家の先生方によるご議論と了承を待つこととなりますが、積極的勧奨再開に向けて確実な道筋が整えることができました。

可能なら来年からHPVワクチンの積極的勧奨を再開させ、副反応が出た方の補償体制もしっかり対応し、この8年間ワクチンを打っていない世代の後追い接種も行うように致します。このことがこれまでの政府の不作為によるがん罹患リスクへの世代間格差を解消する唯一の手段であると、私は確信しております。

参議院議員 三原じゅん子事務所

●国会事務所 〒100-8926 東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館823号室
TEL:03-6550-0823 FAX:03-6551-0823
●横浜事務所 〒231-0004 神奈川県横浜市中区元浜町4-39 元浜町三橋ビル3階
TEL:045-228-9520 FAX:045-228-9523
MAIL: info@miharajunco.org

Twitter



Facebook



Instagram



Ameblo



HP: <http://www.miharajunco.org/>